

市町村名	竹富町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	竹富町民等交通コスト負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
担当部課名	政策推進課	事業実施 (予定)年度	平成27年～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人流・物流のコスト低減と情報 通信基盤の強化		
事業内容	Ⅲ-9-(2)						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	100,834	100,834	90,000	95,300	96,000
		(b)予算現額	71,419	75,321	80,070	92,000	93,784
		(c)増減額(b-a)	-29,415	-25,513	-9,930	-3,300	-2,216
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		71,419	75,321	80,070	92,000	93,784
	B. 執行済額		71,419	75,321	81,325	87,863	90,445
	うち交付金充当額		57,135	60,256	65,060	70,290	72,355
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	101.6%	95.5%	96.4%
予算の状況の説明		交付金の不用額圧縮を図る観点から2月末までを交付対象とし、3月分は町一般財源で対応している。 年度途中での実績額を基に2月末までの利用率減を見込んで事業費の減額を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	船賃の一部負担	目 標	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	
		実 績	船賃の一部負担	船賃の一部負担	船賃の一部負担	船賃の一部負担	
	航空運賃の一部負担	目 標	()	()	()	(航空運賃の 一部負担)	
		実 績				航空運賃の 一部負担	
達成 状況 説明	町民の生活に欠かすことのできない高速船、航空機での移動の際に係る船賃及び航空運賃の一部を負担することにより、交通費の負担軽減及び利便性が高まった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		85%	86%	81%	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗 状況 説明	利用者へのアンケート調査で、移動の利便性が確保されたかを含め事業のあり方を検証した。 結果、負担が軽減されているとの回答が81%となり、目標の80%を上回る結果となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(町民の満足度) 成果目標として、80%を上回った要因については、平成27年度～令和6年度と継続的な支援を実施していることが目標値達成の要因と考えられる。しかし、船会社の船員不足に伴い船便の減便や運行時間の短縮したことにより、町民の移動に係る利便性の確保が危惧されている。	(町民の満足度) 町民の利便性の確保を維持するため、船会社と連携し船員の確保に向けた誘致活動等を実施する必要がある。
今後の取り組み方針		
(町民の満足度) 各種イベントでの船員誘致に関する広告宣伝活動や、船舶免許取得費用の一部補助といった新たな補助制度の構築にも取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90,739</td><td>90,445</td><td>72,355</td><td>18,090</td><td>294</td></tr> </tbody> </table> 竹富町 90,739千円 一括交付金負担金 90,445千円 交付対象外経費 294千円 八重山観光フェリー株式会社 51,118千円 有限会社安栄観光 39,117千円 有限会社船浮海運 210千円 株式会社 第一航空 294千円 竹富町民等交通コスト負担軽減事業					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	90,739	90,445	72,355	18,090	294
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
90,739	90,445	72,355	18,090	294										
資金使途の流れ、評価・費目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、交付要綱に沿った選定方法であるため、妥当といえる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○年度途中に実績額を基に予算を見込み、執行率が96.4%となっていることから、予算規模は適正であった。今後は、不用額を出さないよう、より正確な積算の検討を実施し、予算執行に努める。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○料金設定をJR料金並み及び新幹線料金並みとしている為、町民の利便性・公平性からも妥当といえる。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については町民の船賃負担軽減に必要なものに限定されていた。											

市町村名	竹富町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	竹富町救急救命搬送拡充事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4-2-(3)-ウ	
担当部署名	防災危機管理課	事業実施(予定)年度	令和5年度～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実		
事業内容	島嶼のため医療体制及び救急搬送体制が脆弱であるうえ、世界遺産の登録により観光客が増加している西表島において、救急救命体制の拡充を図るため、民間救急事業者による救急救命士の24時間専任体制を構築し、安心な定住・観光環境を推進する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	予算の状況	(a)当初予算額	76,139	76,139			
		(b)予算現額	76,139	76,139			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	76,139	76,139	0	0	0
	B.執行済額		76,139	76,139			
	うち交付金充当額		60,910	60,911			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画通り適正に執行が行えたと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	散急患者が多い西表島西部地域における、救急救命に係る各種活動の実施 (1)事故発生や発病等による傷病者への救命救急対応及び、医療機関への搬送活動 (2)西表西部診療所から他の医療機関への搬送及び搬送中における救急救命活動 (3)応急手当の普及活動及び疾病予防等の啓発活動	目標	(各種活動の実施)	(各種活動の実施)	()	()	
		実績	各種活動の実施	各種活動の実施			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当初計画のとおり、委託契約を締結し各種活動の実施を行うことにより、救急救命搬送の拡充が図られた。救急出動件数143件、その内転院搬送件数45件、救護活動件数11件、応急手当普及活動等件数21件。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(年度)
	急患搬送の拡充が図られたかアンケートにより検証する。(消防団・医療関係機関)	目標	()	(80%)	(80%)	()	()
		実績		100%	100%		
	西表西部地区における救急搬送要請への対応率。	目標	()	(100%)	(100%)	()	()
		実績		100%	100%		
	進捗状況説明	消防団・医療従事者等による患者搬送業務の拡充についてのアンケート結果より、全ての回答者から搬送業務の拡充が図られたとの回答があった。また、救急搬送要請への対応率は100%だった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	従前の救急搬送業務は、消防団員が対応していたため、急患搬送の迅速化、搬送時の対応、夜間の急患搬送の負担が課題となっていた。民間事業者による救急救命士の24時間専任体制により、搬送業務の迅速化、搬送時の特定医療行為、応急手当の普及活動及び疾病要望等の啓蒙活動が行われたことが目標達成の要因と考えられる。また、事業を導入したことで、西表西部地区内の救急搬送業務は迅速化し、現場出動から転院搬送時に港、ヘリポートまでの救急救命士が同乗することにより、消防団や診療所スタッフの負担が軽減されたとの声もあった。	町の基本計画で目標としている島人と来訪者の安全を確保する安全な町、島人の暮らしと来訪者の滞在を支える安心な町の実現に向け、引き続き民間事業者と委託業務を締結し、消防団、医療従事者、関係機関と連携とり救急搬送業務の拡充に取り組む。
今後の取り組み方針		
前年度の活動報告を基に救急救命に係る各種搬送活動の改善、救急救命士の資質向上への支援、医療従事者、関係機関との連携を行い、更なる搬送体制の拡充に向け取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>83,115</td><td>76,139</td><td>60,911</td><td>15,228</td><td>6,976</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	83,115	76,139	60,911	15,228	6,976
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
83,115	76,139	60,911	15,228	6,976										
竹富町 83,115千円 交付対象外経費 6,976千円 委託費 83,115千円 日本救急システム株式会社 83,115千円 交付対象外経費 6,976千円 竹富町救急救命業務委託契約														
資金使途の流れ・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託契約は地方自治法施行令第167条の2第1項第1号、竹富町契約規則第20条第1項第1号に基づき、随意契約を行っており妥当である。 ○仕様書に基づき、事業内容に見合った規模となっている。 ○仕様書の事業目的に即した費目・使途になっている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	うなり崎公園整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第6章-3-(5)-ウ		
担当部課名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和8年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤等の整備・充実		
						Ⅲ-9-(2)		
事業内容	西表西部地区に整備されたうなり崎公園において、地域住民の要望でもある幼児のための安心・安全な公園の整備を図り、地域住民のみならず各島より訪れた人々とのふれあい、休息、遊戯等の総合的な利用を目的とする町立公園を整備する。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和9年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額						4,224
		(b)予算現額						5,019
		(c)増減額(b-a)						795
		(d)繰越額						0
		A.計(b+d)						5,019
	B.執行済額						2359	
	うち交付金充当額						1887	
	次年度繰越額						0	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	47.0%	
予算の状況の説明		実施設計の中で、成果目標と一致しない遊具の設置を追加し本遊具分は交付対象外経費となったことから、執行率が47.0%となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	公園整備設計業務の実施	目 標					設計の実施	
		実 績					設計の実施	
		目 標						
		実 績						
達成状況説明	公園整備の設計業務を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(9年度)
	公園整備設計業務の完了	目 標	()				公園整備設計業務の完了	()
		実 績					公園整備設計業務の完了	
	【R9年度】魅力的な施設としての整備が図られたか(80%以上)を含め、住民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()					(80%以上)
		実 績						
	進捗状況説明	公園整備の設計業務が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	次年度以降、整備工事の着工に伴い沖縄県内外で製作される遊具が台風等の影響で輸送が遅れ、工事完了が遅れる可能性がある。	余裕を持った工期を設定し、年度開始から早期の工事発注に取り組む。
今後の取り組み方針		
工事契約後は、受注者に対し遊具の製作・輸送計画を作成させ工程管理を徹底させる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,019</td><td>2,359</td><td>1,887</td><td>472</td><td>2,660</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,019	2,359	1,887	472	2,660
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,019	2,359	1,887	472	2,660										
竹富町 5,019 千円 (交付対象外経費 2,660 千円) → 委託費 5,019 千円 → (株)三矢コンサルタント 5,019 千円 (交付対象外経費 2,660 千円) R6うなり崎公園整備調査測量設計業務														
資金使途の流れ、点検・評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については一部不用額があったが、概ね適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	複合型福祉施設整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア		
担当部課名	こども未来課	事業実施 (予定)年度	平成27～令和9年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	子ども・子育て支援の充実			
事業内容	本町での質の高い幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援事業を計画的に実施し、地域で暮らす高齢者等ができる限り住み慣れた地域において自立した生活を支援していくために「複合型福祉施設」を整備する。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(9 年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	914,045					4,413
		(b)予算現額	914,045					2,002
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	-2,411	
		(d)繰越額	0	546,450			0	
		A.計(b+d)	914,045	546,450	0	0	2,002	
	B.執行済額		367,595	481,046			2,002	
	うち交付金充当額		294,076	365,367			1,601	
	次年度繰越額		546,450	0	0		0	
	執行率(%) (B/A)		40.2%	88.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
予算の状況の説明		基本設計委託業務に係る入札執行に際し、請負業者が予定価格の積算基準価格よりも、入札業者の価格競争等の理由により安価で落札した為、当初予算から減額を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	基本設計の実施(黒島複合)	目 標	()	()	()	()	(基本設計実施)	
		実 績					基本設計実施	
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成 状 況 説 明	黒島複合型福祉施設の基本設計業務を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R9年度)
	複合型福祉施設基本設計委託業務(黒島)実施	目 標	()	()	()	()	(基本設計実施)	()
		実 績					基本設計完了	
	【R9成果目標】 子育て支援センター年間利用者数 1,000人(延べ人数) 高齢者サロン年間利用者数 480人(延べ人数)	目 標	()	()	()	()	()	1,000人 (支援センター) 480人 (高齢者サロン)
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	複合型福祉施設基本設計業務(黒島)の基本設計業務を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・施設の機能や配置について、地域との調整を密にし実施設計に取り組む必要がある。	・地域の公民館、老人クラブ、保護者、保育所職員等の要望等の取りまとめを実施する。
今後の取り組み方針		
地元公民館、老人クラブ、保護者、保育所職員等各種団体向けに説明会や打ち合わせを実施し要望等取りまとめ、実施設計に反映させる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,002</td><td>2,002</td><td>1,601</td><td>401</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 2,002千円 委託料 2,002千円 → 株式会社央設計 2,002千円 〔 黒島複合型福祉施設基本設計委託業務 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,002	2,002	1,601	401	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,002	2,002	1,601	401	0										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予定価格より安価で契約締結できたため、減額補正を実施し執行率は100%と適切な予算執行であったと考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については額の確定時において検査、確認しており適切であった。											

市町村名	竹富町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	竹富町離島航空路チャーター運航支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-エ	
担当部署名	政策推進課	事業実施(予定)年度	令和6年～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築 Ⅲ-9-(2)	
事業内容	離島住民の交通手段である離島航空路を確保・維持することにより、離島の定住条件の整備を図るため、小規模離島の生活路線として運航するチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対して補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	7,620	0	0	0	0
		(b)予算現額	7,311	0	0	0	0
		(c)増減額(b-a)	-309	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	7,311	0	0	0	0
	B.執行済額		7,311	0	0	0	0
	うち交付金充当額		5,848	0	0	0	0
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		交付決定及び額の確定により減額を実施し、執行率は100%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	波照間・石垣間のチャーター運航(離島の生活路線)に対する欠損補助	目標	(欠損補助)	()	()	()	
		実績	欠損補助				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	チャーター運航に関する欠損に対して補助を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値(年度)
	波照間・石垣間航空路線の確保維持1路線	目標	()	(1路線)	()	()	()
		実績		1路線			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	波照間・石垣間航空路線(1路線)の運航に対して欠損額の補助を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	チャーター運航に対する欠損補助を行い、波照間・石垣間の航空路線(1路線)を確保、維持することができた。 集落から波照間空港まで距離があり、空港までの移動手段が無く利用したくても利用できない等、島民からの意見があったことから航空路線の利用に際し、空港までの移動手段の確保が課題である。	地元公民館やバス会社等と連携を図り、波照間空港と集落間を結んだ二次交通の整備に取り組む。
今後の取り組み方針		
二次交通の整備に向け必要定員数や台数、運航時刻・回数等を把握するため聞き取り調査等を実施し当該地域に適した二次交通の整備を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,311</td><td>7,311</td><td>5,848</td><td>1,463</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,311	7,311	5,848	1,463	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,311	7,311	5,848	1,463	0										
竹富町 7,311千円 一括交付金 負担金 5,848千円 第一航空株式会社 5,848千円 竹富町離島航空路チャーター運航支援事業														
資金使途の流れ・点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、要綱に沿った選定方法であるため、妥当といえる。 ○年度途中に実績額を基に予算を見込み、執行率が100%となっていることから、予算規模は適正であった。 ○竹富町航空路チャーター運航支援事業補助金交付要綱及び離島航空路チャーター運航支援事業補助金交付要綱に基づいた負担としているため、妥当と判断した。 ○費目・使途については、事業目的の観点から精算時に精査しており、適切であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	竹富町観光誘客・受入対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ		
担当部課名	自然観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興		
事業内容	Ⅲ-9-(2)							
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度（ 年度）							
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	31,731	28,103	52,200	55,295	27,213	
		(b) 予算現額	23,862	22,412	46,388	53,763	25,200	
		(c) 増減額 (b-a)	-7,869	-5,691	-5,812	-1,532	-2,013	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	23,862	22,412	46,388	53,763	25,200	
	B. 執行済額		23,862	22,412	44,245	49,739	23,908	
	うち交付金充当額		19,089	17,930	35,396	39,791	19,126	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	95.4%	92.5%	94.9%	
予算の状況の説明		想定より安価で委託契約できた業務や見込みより人件費が下回った業務があり、予算減額した。						
活動目標（指標）及び達成状況	R6活動目標（指標）		達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	文化、歴史、特産品等を活用したコンテンツの調査・支援	目 標			デジタルスタンプラリー実施	コンテンツ調査・周知、モニターツアー実施		
		実 績			デジタルスタンプラリー実施	コンテンツ調査・周知、モニターツアー実施		
	町内での消費を促すポイントカードシステムの運用	目 標	システム運用	システム運用	会員・加盟店獲得、システム運用	会員・加盟店獲得、システム運用		
		実 績	システム運用	システム運用	会員獲得、システム運用	会員獲得、システム運用		
	インバウンド受入対策	目 標				訪日向け観光MAP制作、指差しコミュニケーションシート制作		
		実 績				訪日向け観光MAP制作、指差しコミュニケーションシート制作		
	ブランドイメージ構築に向けた情報発信	目 標			サイト拡充・PV制作・プロモーション実施	航空旅客対象PR実施、WEB広告や町民協働のPR実施		
		実 績			サイト拡充・PV制作・プロモーション実施	航空旅客対象PR実施、WEB広告や町民協働のPR実施		
達成状況説明	ほぼ目標を達成できたが、「町内での消費を促すポイントカードシステムの運用」にて、新規加盟店拡大に向けて島々の店舗を訪問したが、手数料や事務手間増加の懸念から保留の店舗が多く、加入には至らなかった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	R6成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）	
	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光満足度評価平均60ポイント以上（最高100ポイントで10ポイントきざみ）を目指す。	目 標	（ ）	60%	60ポイント	60ポイント	（ ）	
		実 績		72.20%	87.2ポイント	87.2ポイント		
	進捗状況説明	リアルタイムで集計結果を確認できる来訪者WEBアンケートシステムを令和5年度に構築し、島々を運行する船内や港にQRコードを貼ってアンケート調査を行った結果、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの回答件数は5,407件で、観光客の滞在全体の満足度は平均87.2ポイントとなり、目標を達成できた。（令和5年度のシステム構築時に竹富町観光振興基本計画のKPI管理ができるよう設問を調整した結果、令和4年度以前と観光満足度の評価方法の変更あり。）						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	各島の文化や歴史、特産品等を学習・体験できるスポットやコンテンツを調査、観光MAPの充実、島の資源を活用した牧場体験モニターツアーを実施、観光客が経済活動を通じて地域貢献(公民館活動支援等)ができるポイントカードの運用、インバウンド向け観光MAPや接客支援ツール(事業者向け指差しコミュニケーションシート)の制作、観光客と島の人と地域が「またねっ!」と言い合える良い関係性(責任ある観光)を目指した国内外への情報発信(ブランディングサイト多言語化、WEB広告、航空会社と連携した動画視聴キャンペーン、町民協働のメッセージボード制作等)などの取組みが観光満足度確保につながったと考えられる。	滞在全体の満足度はも87.2ポイントの高評価を獲得しているが、他の満足度を計測している項目を令和5年度と比較して見ると、宿泊先85.7→85.8、食事81.4→81.8、土産品の品揃え66.9→66.0、島内での交通77.5→75.6、現地ツアー・プログラム84.9→83.9、公共トイレの整備状況69.2→67.6、ゴミ箱の設置状況61.4→58.6、公共Wi-Fiの整備状況61.0→61.0、安全に関する情報提供72.4→70.9となっており、微減している項目が多めの状況である。各項目の増減の要因を分析し、引き続き満足度の維持・向上を図る。
今後の取り組み方針		
引き続き観光満足度の維持、向上を目指して、インバウンドも含めた情報発信、受入体制強化の取組みを進める。また、来訪者アンケート結果を更に分析して、特に観光満足度の低い項目(公共Wi-Fi、ゴミ箱、公共トイレの整備状況や土産品の品揃え等)の各種要因を探りながら改善策を検討、実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
竹富町 23,908千円	委託料 23,908千円	一般社団法人 竹富町観光協会 16,014千円	竹富町観光受入体制強化事業											
		ANAあきんど株式会 社 2,000千円	竹富町観光ブランドイメージ構築業務 (航空旅客を対象とした竹富町観光ブランドイ メージ構築事業(ANA))											
		日本トランスオーシーヤ ン航空株式会社 2,000千円	竹富町観光ブランドイメージ構築業務 (航空旅客を対象とした竹富町観光ブランドイ メージ構築事業(ITA))											
		Peach・Aviation 株式 会社 1,760千円	竹富町観光ブランドイメージ構築業務 (航空旅客を対象とした竹富町観光ブランドイ メージ構築事業(Peach))											
		グランドデザイン株式 会社 642千円	竹富町観光ブランドイメージ構築業務 (WEBサイト多言語化業務)											
		株式会社アザナ 462千円	竹富町観光ブランドイメージ構築業務 (WEB普及啓発事業(LINE広告))											
		ノードプレス 461千円	竹富町観光ブランドイメージ構築業務 (WEB普及啓発事業(動画広告)・FaceBook 広告))											
		一般社団法人竹富町 観光協会 449千円	竹富町観光ブランドイメージ構築業務 (地域と来訪者をつなぐ竹富町観光ブランドイ メージ構築事業)											
		マウスライオン 120千円	竹富町観光ブランドイメージ構築業務 (竹富町観光ブランドイメージステッカー・ポスト カード制作)											
		<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>23,908</td><td>23,908</td><td>19,126</td><td>4,782</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	23,908	23,908	19,126
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
23,908	23,908	19,126	4,782	0										
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○全業務随意契約だが、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号または2号に基づき、随意契約を行っており妥当であった。 ○執行状況に応じて適切に予算の補正を行ったことから、適正な予算規模であった。 ○完了報告時に、費目や使途を検査し、目的に即したものであったと判断した。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	竹富町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	竹富町教育委員会社会文化課	事業実施(予定)年度	R2年度～R10年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及	
事業内容	デジタルミュージアムとしての資料公開を大きな目的とし、基本計画策定時の提言に基づき、年長者からわらべ歌・方言等地域の無形文化財の資料収集を行うとともに、アナログ資料のデジタル化をすすめ、地域住民や国内外へ情報を公開・発信し、伝統文化の伝承・発信・交流の取り組みを行う						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(10 年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	12,000	18,000	82,645	2,799	9,024
		(b)予算現額	11,997	16,720	1,124	4,097	2,756
		(c)増減額(b-a)	-3	-1,280	-81,521	1,298	-6,268
		(d)繰越額					0
	A. 計(b+d)		11,997	16,720	1,124	4,097	2,756
	B. 執行済額		11,997	16,720	1,122	4,097	2,754
	うち交付金充当額		9,597	13,376	897	3,277	2,203
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.8%	100.0%	99.9%
予算の状況の説明		※沖縄本島業者の見積を参考とした予算を計上していたが、八重山郡内の業者が落札したことで、交通費・宿泊費が縮小されたため、当初予算から減額を実施し、適正な予算規模で実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	地域に残るわらべ歌等の聞き取り・記録調査	目 標	(基本計画の策定)	(わらべ歌等調査収集(竹富島))	(わらべ歌等調査収集(竹富島・西表古見))	(わらべ歌等調査収集(小浜島・小浜資料館資料調査データベース作成))	
		実 績	基本計画の策定	わらべ歌等調査収集(竹富島)	わらべ歌等調査収集(竹富島・西表古見)	わらべ歌等調査収集(小浜島・小浜資料館資料調査データベース作成)	
	映像資料・写真資料のデジタル化	目 標	()	(アナログ資料のデジタル化)	(アナログ資料のデジタル化)	(アナログ資料のデジタル化)	
		実 績		アナログ資料のデジタル化	アナログ資料のデジタル化	アナログ資料のデジタル化	
達成状況説明	事業の実施にあたり、展示検討委員会や幹事会を開催し、本年度の事業方針を確認したうえで事業を実施した。事業実施にあたり資料調査・収集については、博物館学芸員で専門的な知識を有する検討委員長より助言を受けながら計画どおり事業完了を行うことができた。 デジタルミュージアムでの資料公開に向けた基礎資料として、写真・種類のデータベースを作成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R10年度)
	町保管等のアナログ資料のデジタル化を行い、公開可能なものについてはHPにて公開を行う。	目 標	()	(資料収集の完了及び映像資料のデジタル化)	(資料収集の完了及び映像資料のデジタル化)	(資料収集及び映像資料のデジタル化、小浜資料館資料調査の完了)	()
		実 績		完了	完了	完了	
	【R10成果目標】 ①来館者アンケート満足度80%以上 ②閲覧者数40,000人/年以上	目 標	()	()	()	()	(80% 40,000人)
		実 績					
進捗状況説明	わらべ歌等、地域の年長者から聞き取り調査等を実施し地域に残るわらべ歌を記録しデジタル化を実施した。また、古見公民館や町保管の写真等のデジタル化を実施した。デジタル化した記録や資料等については、HPでの公表やQRコードで映像や音声が見聴できる形で冊子等の配布を予定している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	わらべ歌等を知る地域の年長者が少なくなっていることや、各家庭で保管している写真や記録等のアナログ資料が引越等により処分が進み、地域に残っていないことも多く、情報及び資料収集に支障をきたしている。 また、アナログ資料のデジタル化と同時並行で、基本計画にあるサテライト施設については、既存施設の活用を検討しているものの、老朽化により資料の健全な保管や公開ができない環境である。	わらべ歌の聞き取り調査が困難なため、郷友会等と協力して年長者を探し、県内外に資料提供を呼びかける等収集の方法を検討し、方針を定める。 サテライト施設の開館に向け、既存施設の老朽化部分を改修する。 R7年度は竹富島にある蒐集館所蔵の資料についてデータベース作成を進めて行く。
今後の取り組み方針		
サテライト施設を予定している既存施設が適正に資料の保管や公開ができる環境とするため機能強化を含めた改修に取り組み開館を目指すと共に、HP上で町内施設資料の閲覧・検索ができるデジタルミュージアムの基礎となる資料デジタル化に取り組む。 さらに、収集したわらべ歌やデジタル化した資料もデジタルミュージアムで公開できるよう、資料の収集を進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
竹富町 委託料 990千円 マウスライオン 990千円 町史保管写真デジタル化委託業務 委託料 775千円 小浜公民館 775千円 小浜島等における資料調査およびデータベース作成委託業務 委託料 715千円 マウスライオン 715千円 小浜資料館・竹富町資料室の資料調査およびデータ化に係る委託料 委託料 28千円 マウスライオン 28千円 アナログ資料のデジタル化業務(8mmテープ) 委託料 246千円 映像工場 246千円 アナログ資料のデジタル化業務(古見公民館)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		2,754	2,754	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		2,203	551	
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託先は、島内を熟知している団体と地方自治法施行令第167条の2第1項第1号、竹富町契約規則第20条第1項第1号に基づく、随意契約または、指名競争入札により、業者を選定しており妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は参考見積と前年度実績に基づく積算を根拠に実施しており、適正である。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については業務完了報告を受け検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	竹富島ンブル坂、世持御嶽前石畳整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－1－(5)－イ	
担当部署名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	令和5年度～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり		
事業内容	重要伝統的建造物群保存地区の保全と観光地にふさわしい景観及び安心安全な観光地の保全を図ることを目的とし、既設石畳を参考としてつ、不陸の改善・周辺景観と調和する石畳の整備工事を行う。 計画：・R5世持御嶽前308㎡・R6ンブル坂 549.6㎡						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(令和7年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	44,352	73,656			
		(b) 予算現額	29,774	67,650			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 14,578	▲ 6,006			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	29,774	67,650			
	B. 執行済額		29,774	67,650			
	うち交付金充当額		23,819	54,120			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		入札により予定価格よりも安価で契約締結を実施できたため、事業費の減額を実施し執行率は100%と適正な予算であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	整備工事の実施(R5世持御嶽前、R6ンブル坂)	目標	石畳工事実施	石畳工事実施			
		実績	石畳工事完了世持御嶽前	石畳工事完了ンブル坂			
		目標					
		実績					
達成状況説明	ンブル坂において石畳整備工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(7年度)
	整備工事の完了	目標	()	整備工事の完了	整備工事の完了		()
		実績		整備工事の完了	整備工事の完了		
	【R7成果目標】施設利用者を対象にアンケート調査を行い、利便性の確保及び魅力的な観光地となっているか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()			(80%以上)
		実績					
	進捗状況説明	ンブル坂において石畳整備工事が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	不陸の改善・周辺景観と調和する石畳の整備工事を実施し、観光地に相応しい景観や、安心・安全な環境を整備することができた。	整備後も引き続き、当該石畳の適正な維持・管理を実施する。整備後の効果の検証については、アンケート調査を実施する。
今後の取り組み方針		
令和7年度にアンケート調査を実施し、本事業の効果の検証を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>67,650</td><td>67,650</td><td>54,120</td><td>13,530</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	67,650	67,650	54,120	13,530	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
67,650	67,650	54,120	13,530	0										
竹富町 67,650 千円 (交付対象外経費 0 千円) 工事請負費 67,650 千円 南西開発㈱ 67,650 千円 (交付対象外経費 0 千円) R6ンブフル坂石畳整備工事														
資金使途の流れ・評価目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は無く、適正な規模であったと考えている。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④	竹富町観光案内人制度運用支援システム整備等事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第6章-3-(5)-イ		
担当部署名	自然観光課	事業実施 (予定)年度	令和6年度			沖縄振興基本方針 該当箇所	自然環境等を生かした観光 及び文化・交流	
事業内容	竹富町では、オーバーツーリズムによる自然環境の劣化や利用者の快適性の低下が課題となっている西表島を対象に、エコツーリズム推進法に基づくエコツーリズム推進全体構想とガイドに免許取得を義務付ける竹富町観光案内人条例を連携運用することで、適切な観光管理の下でのエコツーリズム推進を図ることとしている。これらの制度の適切な運用体制の整備及び観光客等の認知向上は急務となっているため、本事業において条例等に基づく手続きを電子化及び電子化を通じたデータベース蓄積のためのシステム整備、既存の関連システムとの整理統合により運用体制を整備するとともに、データベースの一部をオープンデータ化した利用者向けWebサイトの構築及びWeb広告配信による利用者向け情報発信を行う。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和8年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	41,602					
		(b)予算現額	41,602					
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)繰越額	0					
		A. 計(b+d)	41,602	0	0	0	0	
	B. 執行済額		41,602					
	うち交付金充当額		33,281					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		事業計画どおりに適正に執行を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	竹富町観光案内人制度運用支援システムの整備	目 標	(システム整備)	()	()	()		
		実 績	システム整備					
	WEB広告配信等による情報発信の実施	目 標	(情報発信の 実施)	()	()	()		
		実 績	情報発信の 実施					
達成 状況 説明	当初予定どおり、竹富町観光案内人条例に基づく手続き電子化の基盤構築及び既存システムとの統合による一元的案内人制度運用支援システムの整備を完了した。また、WEB広告により来訪者や住民に対して希少動物の保護や環境の保全につながる情報を発信することができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R8年度)	
	一元的案内人制度運用支援システムの構築	目 標	()	(構築)	()	()	()	
		実 績		構築				
	利用者の西表島における観光管理の必要性に関する認知度	目 標	()	()	()	()	(50%)	
		実 績						
	進捗 状況 説明	一元的案内人制度運用支援システムを構築することができた 後年度発現目標として、事業終了後の翌年度である令和8年度に計測予定。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	システム構築に係る要件定義の過程で、作業量が当初想定よりも大幅に増であることが判明したが、適切に計画変更等の措置を講ずることで、基盤となるシステム構築を行うことができた。	令和7年度は、令和6年度事業で構築したシステムを基盤とし、観光客に有益な情報のオープンデータ化に繋げるためのWebサイト連携構築や、それに必要となるシステム側の整備を継続実施し、事業目的の達成を図る。
今後の取り組み方針		
令和7年度事業において、Webサイト連携による普及啓発までの一連の事業を確実に実施し、令和8年度以降適切に運用を行うことで、西表島における適正な観光管理のもとでのエコツーリズムの推進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>41,602</td><td>41,602</td><td>33,281</td><td>8,321</td><td>0</td></tr></table> 竹富町 41,602千円 → 委託料 41,602千円 → 株式会社アボックス 38,973千円 → ノードプレス 2,629千円 システム設計及び構築 Web広告配信					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	41,602	41,602	33,281	8,321	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
41,602	41,602	33,281	8,321	0										
資金使途の流れ、点検・評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式又は随意契約により選定。随意契約は、Web広告配信に必要なパナーデータの所有が理由で、地方自治法第234条第2項及び同法施行令第167条の2第2号に基づき妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○不用額は0円であり、適正な規模であった。 ○費目、使途についても検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町									
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	2-⑤		竹富島コンドイ園地整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(10)-ウ	
担当部署名	自然観光課			事業実施 (予定)年度	令和6年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		持続可能で質の高い離島観光 の振興	
事業内容	竹富島コンドイ園地では、利用者負担の仕組みを導入し、コンドイ浜の自然資源の魅力をさらに活用することを目的として、シャワー室などの利用施設の整備を行う。このために、基本構想および基本計画の策定を行う。									
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和9年度)									
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度			
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,928							
		(b)予算現額	4,928							
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0			
		(d)繰越額	0							
	A. 計(b+d)		4,928	0	0	0	0			
	B. 執行済額		4,928							
	うち交付金充当額		3,942							
	次年度繰越額		0							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。								
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況						
				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	基本構想及び基本計画の策定	目 標	基本構想・基本設計策定	()	()	()				
		実 績	基本構想・基本設計策定							
		目 標	()	()	()	()				
		実 績								
達成状況説明	基本構想及び基本設計の策定を実施した。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)		
	基本構想及び基本計画の策定完了	目 標	()	(基本構想・ 基本設計策) 定完了	()	()	()	(90%)		
		実 績		基本構想・基本設計策定完了						
	利用者満足度90%以上	目 標	()	()	()	()	()	(90%)		
		実 績								
	進捗状況説明	基本構想及び基本計画の策定を完了した。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	着実に事業を進め、当初計画どおり基本計画を策定することができた。	基本計画の検討過程において、その検討内容に対応し、当初想定に加えて地質調査及び建築詳細設計の実施の必要性が見い出されたことから、全体スケジュールを検討することが望ましい。
今後の取り組み方針		
事業の全体スケジュールについて、以下のとおり見直しを検討する。 令和7年度:地質調査及び基本設計 令和8年度:実施設計 令和9年度:工事		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>4,928</td><td>4,928</td><td>3,942</td><td>986</td><td>0</td></tr></table> 竹富町 4,928千円 → 委託料 4,928千円 → 景域計画株式会社 4,928千円 整備基本計画の策定					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,928	4,928	3,942	986	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,928	4,928	3,942	986	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 項目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により選定。 ○不用額は0円であり、適正な規模であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目、使途についても検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	竹富町和牛生産推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興		
					Ⅲ-1-(6)		
事業内容	本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備強化を図るため、優良母牛の導入支援(購入費の1/2以上上限60万円)及び口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止対策を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	58,475	58,441	52,475	52,562	28,562
		(b)予算現額	51,846	58,441	37,756	26,141	13,788
		(c)増減額(b-a)	-6,629	0	-14,719	-26,421	-14,774
		(d)繰越額					0
	A.計(b+d)	51,846	58,441	37,756	26,141	13,788	
	B.執行済額	51846	54869	22916	16,938	11,708	
	うち交付金充当額						
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	93.9%	60.7%	64.8%	84.9%	
予算の状況の説明	当初計画導入頭数は80頭を予定していたが申し込みは52頭であったことから減額補正を実施したもの、近年の物価高の影響による生産コストの増大等により畜産農家の不況が続いていることから、買い付け予定限度価格を低めに設定したことで落札できず、一部導入に至らなかったことから不用額が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	離島港湾靴底消毒用マット設置6ヶ所(竹富・小浜・黒島・波照間・西表東部・西表西部)	目 標	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	
		実 績	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	
	優良母牛導入支援	目 標	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	
		実 績	導入助成	導入助成	導入助成	導入助成	
達成状況説明	・町内港湾6箇所に防疫マットを設置したことにより、伝染病等の侵入を防止した。 ・当初導入計画80等に対して、30頭の導入支援に留まったものの、物価高に伴う生産コストの増大等、畜産農家に不況が続く中でも優良繁殖雌牛の導入により生産基盤の拡大を一部図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	・島々への玄関口である港湾施設における防疫対策による口蹄疫等の進入防止を図る。 家畜伝染病等の発生件数0件	目 標	()	()	マット設置6箇所(発生件数0件)	マット設置6箇所(発生件数0件)	()
		実 績			マット設置6箇所(発生件数0件)	マット設置6箇所(発生件数0件)	
	・優良繁殖雌牛導入支援 60万×80頭	目 標	()	()	(80頭)	(80頭)	()
		実 績			(43頭)	(30頭)	
	進捗状況説明	各離島ターミナルに防疫マットを6箇所設置した。家畜伝染病等の発生はなかった。 優良母牛導入支援については、80頭導入を計画したが、昨今のセリ価格の低下や飼料等の高騰から、計画頭数を導入するに至らなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・年間、80年以上の観光客が来島する本町においては、国内で発生する鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病の防止対策を継続して実施する必要がある。 ・物価高騰により飼料価格も上昇し続けており、生産農家のコストの増大や、購買者の購買意欲の低減もあり、八重山家畜市場においてはセリ落札価格の下落が続いている状況である。	・防疫マットの設置、消石灰の配布に加え、来訪者及び生産者の防疫意識向上に引き続き取り組む必要がある。 ・今後も物価高騰の影響が懸念されることから、自給飼料の増大や生産コスト削減等、経営への影響を最小限に抑える取り組みを強化する必要がある。
今後の取り組み方針		
・家畜伝性病侵入防止対策として各島への防疫マット設置を継続するとともに、家畜保健衛生所等と連携して伝染病等の侵入防止を目的とした講習会を実施するなど、各生産農場での防疫対策の強化に引き続き取り組む。 ・生産コスト削減や農家の生産技術向上に向け、講習会等を引き続き実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		11,708	11,708	9,366	2,342	

竹富町
11,708千円

委託料
3,026千円

個人業務委託者6名
2,090千円

沖縄県農業共同組合
935千円

消費品費
260千円

補助金
8,422千円

導入農家
8,422千円

防疫対策に係る業務委託料
(竹富・小浜・黒島・西表東部・西表西部・波照間)

優良遺伝子繁殖雌牛導入業務委託

防疫対策に係る
消毒剤、マット等購入費

優良遺伝繁殖雌牛導入に係る補助金

資金の用途の流れ、費目・点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・防疫対策委託契約は地方目治法施行令第167条の2第1項第1号及び竹富町契約規則第19条第1項第6号並びに同規則第20条第2項の規定に基づき、妥当であったと考えている。また、導入牛業務委託については地方自治法第167条の2第1項第2号及び竹富町契約規則第20条第1項第1号の規定に基づき妥当と考える。 ・子牛価格の高騰を考慮して予算を確保したところ、予想を下回る規模となったため、流用により適正な規模へ見直しを行った。 ・受益者は導入費用の2分の1を負担しており、妥当である。 ・費目・使途については生産段階で検査を実施しており、適正だと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町										
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	4-②		古見遊歩道整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		4章-1-(2)-7		
担当部署名	農林水産課			事業実施 (予定)年度	令和6～7年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		自然環境・生物多様性の保全・ 継承		
									Ⅲ-1-(1)		
事業内容	国の天然記念物に指定されている「古見のサキシマスオウノキ群落」へと続く遊歩道が老朽化により閉鎖されている。自然文化財に触れる機会を損失している現状を改善し、地域の活性化につなげることを目的とし、遊歩道改修の実施設計、整備を行う。										
効果発現年度	■当年度 ■後年度(8年度)										
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()										
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	5,210								
		(b)予算現額	5,210								
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0				
		(d)繰越額	0					0			
		A. 計(b+d)	5,210	0	0	0	0				
	B. 執行済額		3,960								
	うち交付金充当額		3,168								
	次年度繰越額		0					0			
	執行率(%) (B/A)		76.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
予算の状況の説明		入札により当初の予定額より安価で契約締結できたが追加の増額に備え予算を確保していたものの、増額はなく執行率が76%不用額1,250千円が発生した。									
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況							
				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度				
	古見遊歩道改修設計業務の実施	目 標	(実施設計実施)	()	()	()	(実施設計実施)				
		実 績	実施設計実施				実施設計完了				
		目 標	()	()	()	()					
		実 績									
達成 状 況 説 明	観光事業所や地域の要望を取り入れながら実施設計業務を実施した。										
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (8年度)			
	古見遊歩道改修設計業務の完了	目 標	()	(実施設計完了)	()	()	()				
		実 績		実施設計完了							
	西表島観光客数1万8千人	目 標	()	()	()	()	(1万8千人)				
		実 績									
	進 捗 状 況 説 明	観光事業所や地域の要望を取り入れながら実施設計業務をを完了した。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	工事発注に際し、年の物価高の影響により資材費や人件費の高騰があることから、工事費の追加や資材の入手難が考えられる。また、工期の設定についても、地域のイベント等に考慮する必要がある。	営繕単価等の動向を注視し、早期対応につとめるほか、地域の状況、要望を織り込み効率的な整備工事を目指す。
今後の取り組み方針		
営繕単価等の動向を注視するほか、地域の状況・要望等を打ち合わせや説明会を実施し的確に把握した上で整備工事を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>3,960</td><td>3,960</td><td>3,168</td><td>792</td><td>0</td></tr></table> 竹富町 3,960千円 委託料 3,960千円 有限会社 八島企画 3, 960千円 古見遊歩道改修設計業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,960	3,960	3,168	792	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,960	3,960	3,168	792	0										
資金使途の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており妥当であった。 ○適切な予算執行と考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については、額の確定時において検査確認しており、適切であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③	仲間川サキシマスオウノキ遊歩道整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4章-1-(2)-7			
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和6～7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境・生物多様性の保全・継承			
					Ⅲ-1-(1)			
事業内容	仲間川天然保護区域に生育する日本最大規模のサキシマスオウノキへと続く遊歩道が老朽化により危険な状態となっている。自然文化財に触れる機会を損失している現状を改善し、地域の活性化につなげることを目的とし、遊歩道改修実施設計及び改修を行う。							
効果発現年度	■当年度 ■後年度(8年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,640					
		(b)予算現額	6,640					
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	6,640	0	0	0	0	
	B.執行済額		6,270					
	うち交付金充当額		5,016					
	次年度繰越額		0				0	
	執行率(%) (B/A)		94.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		入札により当初の予定額より安価で契約締結できたが追加の増額に備え予算を確保していたものの、増額はなく執行率が94.4%となり、不用額370千円が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	仲間川サキシマスオウノキ遊歩道整備事業測量設計業務の実施	目標	(実施設計実施)	()	()	()		
		実績	実施設計完了					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	観光事業所や地域の要望を取り入れながら実施設計業務を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値(8年度)	
	仲間川サキシマスオウノキ遊歩道整備事業測量設計業務の完了	目標	()	(実施設計完了)	()	()	()	
		実績		実施設計完了				
	訪問客数3,630人	目標	()	()	()	()	(3,630人)	
		実績						
	進捗状況説明	観光事業所や地域の要望を取り入れながら実施設計業務を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	工事発注に際し、年の物価高の影響により資材費や人件費の高騰があることから、工事費の追加や資材の入手難が考えられる。また、工期の設定についても、地域のイベント等に考慮する必要がある。	営繕単価等の動向を注視し、早期対応につとめるほか、地域の状況、要望を織り込み効率的な整備工事を目指す。
今後の取り組み方針		
営繕単価等の動向を注視するほか、地域の状況・要望等を打ち合わせや説明会を実施し的確に把握した上で整備工事を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,270</td><td>6,270</td><td>5,016</td><td>1,254</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,270	6,270	5,016	1,254	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,270	6,270	5,016	1,254	0										
竹富町 6,270千円 委託料 6,270千円 有限会社 八島企画 6, 270千円 仲間川サキシマスオウノキ遊歩道整備事業測量設計業務														
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており妥当であった。 ○適切な予算執行と考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については、額の確定時において検査確認しており、適切であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												